

〈美術科〉

1 授業の受け方

美術科は、美しいものを感じとり、自分の考えをもとにして、自分の体をつかって実際につくり出す教科です。受身でなく、自分からすすんで活動し、表現したり味わったりすることの中から楽しさが味わえるのです。

- (1) 学習に必要なものの準備物確認
- (2) 学習の目標をしっかりとつかみ、自分は何を表わしたいのかという自分なりの主題を決めて構想を練る。
- (3) 主題を表わすために、材料、用具、技法、順序などを自分で選択し、完成だと納得できるまで、自分なりの表現を工夫する。
- (4) 自分や友だちの作品を味わい、良さやちがいを感じとる。
- (5) 用具の整頓、教室の後しまつをきちんとする。やりっぱなしでそのままにしないで、教室の後しまつ、用具の整頓や手入れは、制作をするだけでなく、学習の大切な目あてであり、人としての基本的なマナーである。

2 予習・復習の仕方

- (1) 授業のための準備は、忘れないようにきちんと整えておく。週に一回の授業なのに忘れ物をしたのでは、積極的に授業にのぞめず、周囲の人にも迷惑をかけることになる。
- (2) 学校での学習のことは、日常生活の中でも気にかけて考えたりしよう。周囲のものをみていると、思いがけずいいアイデアがまとまることがある。
- (3) 自分の周囲のものを、いつも注意深くみつめ、新しいものを発見し、それに感動する心を大切にしよう心がける。空は青、木の葉は緑といった観察ぬきの先入観でもの見ないようにし、素直な心でものを見つめられる自分になろう。
- (4) デッサン力（描く力）をつけるために、めんどうがらずに描いてみる習慣をつけよう。自分の身体、机の上のもの、草花、動物、日用品など、描くものは身近にいくらでもある。クロッキー、デッサンなどいろいろな表現のしかたを試みてみよう。
- (5) すぐれた美術品との出あいは、私たちに新しい別の世界のあることを教えてくれる。できるだけ機会をつかんで、いい作品に接するよう心がけよう。